

江戸の薬屋さん

第一回

福島 輔作



江戸の薬屋さん

第一回

福島 輔作

両国橋近くの薬屋
「春満堂」の
お澄さんです



お澄さんの
家族です

おめえの家は何屋なのか
って聞かれたから
「オトナのくすり」の店
って
言っといたよ!

キラッ ✨

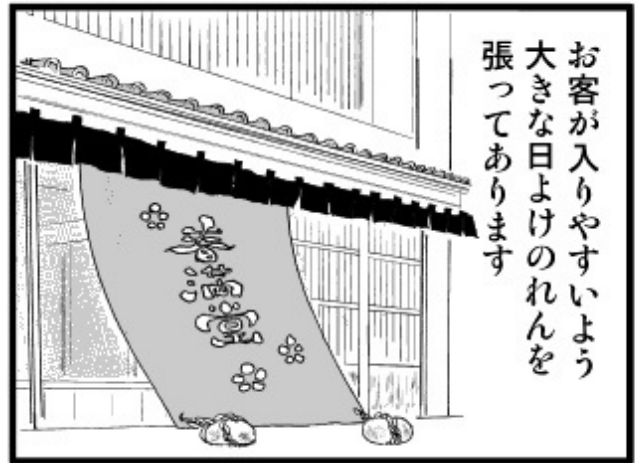


さーて今日も
かせぐわよー

かあちゃん

ちなみに催淫薬、強精剤
性具を絶賛発売中





お澄さんの亭主 ②



旦那さんは
新商品の開発も
しています

カキカキカキカキ

お澄さんの亭主 ①



お澄さんの旦那さんは
いつも店の奥で何か
しています



今夜は
これを
使うぞ

試作品は
効き目をたしかめないとね



またか



めりめり

あ
なんだか

あ
ああ

こんな毎日ですが



女房に何しやがる
タマつぶされてえか



本業は「わじるし」(笑) 絵
春画) の人気絵師
だったりします



こういうお客には高い薬を
ドッサリ買っていたかく
優秀な営業マンです

ありがとう
ございました

ムスメさんはしっかり者



女悦丸を
良い酢で溶き、
交合の前に玉門に
塗っておきます

思春期



お澄さんのムスメさんは
見た目おぼこいですが

実はかなりのおませさん



するとあの最中にあそこが
熱くうずき
その名の通り
女子に激しい快感を



あ、手習塾から帰ってきた
ようです

ただいま、
あら？おつかさん
いないの？



今回は
女悦丸に
ついて
書いて
みました

おー
早いね



あつ
女悦丸が
だいぶ減ってる

売れてるんだ！



ムスメさんたら
エッチ系の瓦板に
媚薬紹介記事を書いて
バイトしているのです

また次も
よろしくな



いったい今日何人
イクのかしら

悶

悶

筒抜けなんですけど





店には媚薬や張形の見本
だけを置いておき…

どっちに
しようかなー



この前のクスリ
すつごく
効いたわあ

アラ
良かった！



店の奥に小さい窓口をつくる
お澄はその奥にいて
お客の注文をきくんだ



また買いたいけど…
やっぱりお店でお金はらう
ときが恥ずかしくって
なかなかね



これならお客は
恥ずかしくねえし
おめえが
襲われることも
なくなるぜえ

すてきー
おまえさん



というわけなの
なんとかして
あげられないかしらん？



アダルトグッズの通販と
ラブホ受付の原点
ここにあり♪



店に入りにくい客には
直接家へ届ける
中身がわからないよう
箱に入れてな！

江戸の薬屋さん #01

<http://p.booklog.jp/book/69884>

著者：福島 輔

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/tskfksm/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/69884>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/69884>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ